

■ 文化祭～感動をありがとう～

10月2日（土）、文化祭が開催されました。今年度の文化祭も、新型コロナウイルス感染症対策のため、各学年の合唱コンクールでは該当学年の保護者のみ鑑賞できるようにするなど、参観の制限の協力をい



ただきました。また、年度当初から合唱練習



の自粛を行ってきたため、今年度も本校の伝統として行われてきた開祭式の大地讃頌の全校合唱を中止しました。このようにコロナ対策の取組をしながら、合唱練習、教科作品展示、文化部発表の準備を進めました。

文化祭当日は、学年ごとの合唱コンクール、教科作品展示、文芸部作品展示、吹奏楽ステージ発表、生徒会執行部による演劇など、日頃の授業や部活動などの取組の成果を存分に発表しました。文化祭では、各学級、各学年、全校生徒が文化を発信することを通して、感動を共有し分かち合う1日となりました。

また、午前中の合唱コンクールでは、各学級が日々練習を積み重ねてきた成果を十分に発揮して、心のこもった素晴らしい演奏を披露してくれました。そして、一生懸命取り組んだことが自信や誇りの気持ちに変化し、生徒の皆さんも充実感や達成感を得ることができたと思います。審査員の矢巾町教育委員会指導主事の菊池和裕先生からも感動のあまり暖かい激励のコメントをたくさんいただきました。

文化祭を成功させるには、生徒一人一人が、各学級が、各学年が、そして全校が、生徒会執行部の企画・運営に誠心誠意協力し団結することが大切です。これまでの取組の中で、困難や

悩みを抱えながらも合唱練習などに取り組み、その困難を乗り越えて努力したことが素晴らしい作品や発表に結びついたと思います。私は生徒の皆さんの姿から『非日常の取組から日常の学校生活を磨くことの大切さ』、『決められた時間、限られた時間の中で最高の文化を創造することの大切さ』、『取組結果よりも取組過程の大切さ』を学びました。また、文化祭の取組が進むほど、各学級の教室環境が良くなり、真摯に取り組んでいる空気感が感じられました。文化祭で創造して得た様々な力を、これからの学校生活の中で活かして、さらに磨きをかけて欲しいと思いました。

最後に改めて生徒の皆さんに一言・・・『感動をありがとう！』

■ 岩手県駅伝継走大会

女子チーム16位健闘！

10月1日（金）、花巻市日居城野運動公園において岩手県中学校駅伝継走大会が開催されました。本校からは女子チームが紫波地区代表として参加しました。紫波地区新人大会終了後、県新人大会へ向けた練習や文化

校報 矢巾中

世界に響け 矢中魂

第11号 文責 福士 幸雄

祭取組がある中、時間を有効に使って練習を積み重ねてきました。これまでの練習では地区大会での成果と課題を確認しながら、走り込んで



大会当日は、台風の影響による暴風雨の悪天候の中でしたが、練習の成果を活かして、それぞれの選手が精一杯の走りを見せてくれました。また、チームとして仲間の走りに応援するなど、全力で取り組む姿が素晴らしかったです。

選手の皆さんの健闘に心から感謝します。ありがとうございました。